

2004 年度 愛知県スキー連盟 スキー公認検定員 B 級検定員検定理論問題

氏 名		クラブ名		受験番号	
-----	--	------	--	------	--

1. スキー公認検定員規定第2条に定められている（任務）について（ ）の中に
 適当な語句を記しなさい。

検定員は、基礎スキー（ ）の基幹となる人材であることを認識し、
 （ ）なる判定によって、（ ）を円滑に運営し、
 その（ ）を保持するよう心掛けねばならない。

2. スキー公認検定員規定第3条に定められている（検定の範囲）にあるB級検定員が
 検定できる範囲について（ ）の中に適当な語句を記しなさい。

(1) スキー（ ）

(2) スキー（ ）

(3) 全日本スキー技術選手権（ ）

3. スキー公認検定員規定第13条に定められている（資格の喪失）について（ ）
 の中に適当な語句を記しなさい。

(1) 連盟の規約に違反し、（ ）ような行為があったとき

(2) 所定の指導員研修会に（ ）したとき

(3) 資格の停止期間が、（ ）したとき

(4) その他指導員及び準指導員の（ ）したとき

4. スキーバッジテスト規定第1条に定められている（バッジテストの種類）を3つ記しなさい。

(1)

(2)

(3)

5. スキーバッジテスト規定第17条に定められている級別テストにおける（受験資格）に
 ついて（ ）の中に適切な語句を記しなさい。

(1) 1級および2級の受験者は、（ ）以上とする。ただし小学生であっても、ジ
 ュニアテスト（ ）以上を取得している者であれば、受験することができる。

(2) 3級、4級及び5級の受験者は、（ ）以上とする。

(3) 受験者は、（ ）する級を受検することができる。

(4) 本連盟の登録会員は、（ ）を受けることができる。

6. スキーバッジテストにおける級別テスト1級の種目と斜面について（ ）の中に適切な
 語句を記しなさい。

テスト区分	種 目	斜 面
1 級	○（ ）	○中急～急斜面
	○（ ）	○（ ）
	○（ ）	○中急～急斜面
	○パラレルターン小回り（不整地）	○（ ）
	○（ ）	○総合斜面